

令和元年度
武蔵村山市
ホストタウン
交流事業

「モンゴル国 ウランバートル市 ハンオール区派遣交流」

令和元年
7月31日～8月4日

実施報告書



目次

実施概要…………… 1

参加者…………… 2

スケジュール…………… 3

事前説明会…………… 4

壮行会…………… 5

DAY 1…………… 6

DAY 2…………… 7～9

DAY 3…………… 10～12

DAY 4…………… 13～14

DAY 5…………… 15

生徒たちのアンケート集計…………… 16～17

保護者のアンケート集計…………… 18



実施概要

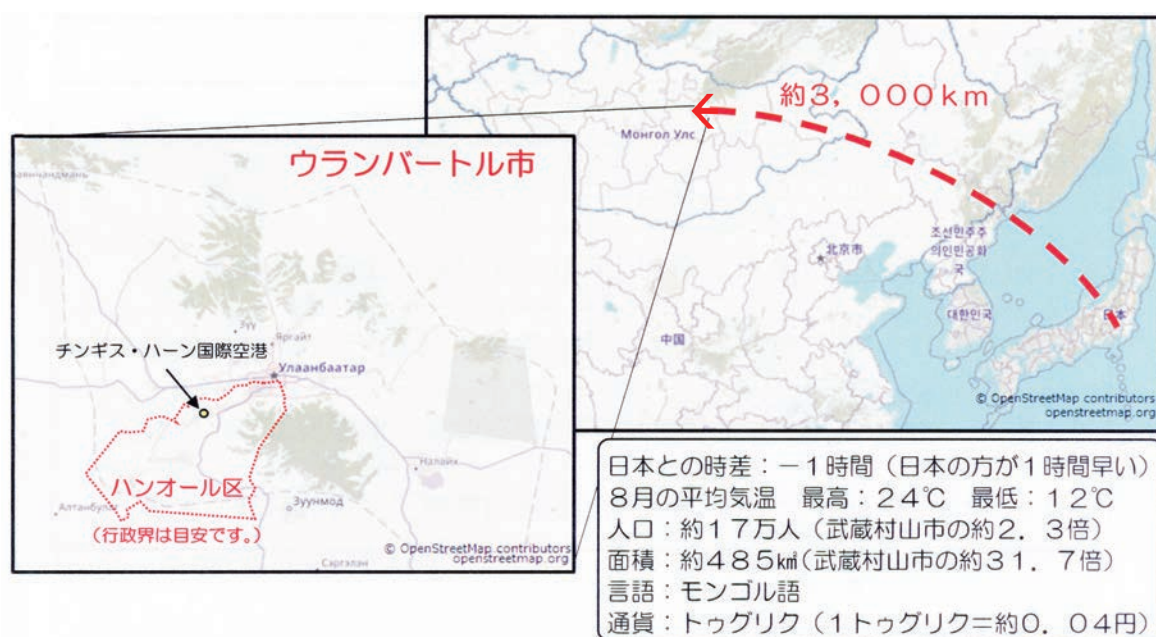
目的：武蔵村山市立中学校の生徒を、本市がホストタウンとなっているモンゴル国に派遣し、異文化体験を通じて、国際理解及び国際感覚を養うとともに、帰国後はモンゴル国の交流事業参加者として、学校及び地域における国際理解の推進を図ることで、本市とモンゴル国の友好を深める。

期間：令和元年7月31日(水)～同年8月4日(日)までの5日間

派遣先：モンゴル国ウランバートル市ハンオール区など

対象：市内中学生1～3年生

人数：10人



参加者

派遣者

※五十音順

	氏名	性別	学校	学年
1	麻生 遥佳	女	武蔵村山市立第一中学校	1 年
2	内海 百詠	女	武蔵村山市立第一中学校	1 年
3	亀澤 遥香	女	武蔵村山市立第五中学校	3 年
4	小松 咲くら	女	武蔵村山市立小中一貫校 村山学園第二中学校	3 年（9 年）
5	鈴木 恵祐	男	武蔵村山市立第五中学校	1 年
6	高城 友美	女	武蔵村山市立第三中学校	1 年
7	松井 奏人	男	武蔵村山市立小中一貫校 村山学園第二中学校	3 年（9 年）
8	水野 健太郎	男	武蔵村山市立第一中学校	3 年
9	宮田 蓮	男	武蔵村山市立第三中学校	1 年
10	村越 絢奈	女	武蔵村山市立第一中学校	1 年

随行者

	氏名	所属
1	勝山 朗	教育委員会 指導担当参事
2	鈴木 義雄	企画財務部 企画政策課長
3	荒川 裕	企画財務部 企画政策課 企画政策係 主任
4	黒岩 奈美	健康福祉部 健康推進課 母子保健係 技師
5	満利 寧々	企画財務部 秘書広報課 広報広聴係 主事

スケジュール

事前説明会

第1回：

6月28日(金)午後6時30分
さくらホール（市民会館）展示室

第2回：

7月18日(木)午後6時30分
中部地区会館（市役所4階）401大集会室



壮行会

7月30日(火)
午前10時30分
市公室



1日目（7月31日(水)）

時刻	場所等
8:50	武蔵村山市役所発
12:30	成田空港着
14:50	モンゴル航空502便で空の旅
19:00	チンギス・ハーン国際空港着
20:30	ラマダ・ウランバートル・シティ・センター着

2日目（8月1日(木)）

時刻	場所等
9:00	ホテル発 スーパーマーケットでおやつを購入
AM	チンギス・ハーン像テーマパーク着 施設見学
PM	グル・エコ・コンプレックス（グル型ホテル）着 民族衣装、乗馬、弓射体験
23:00	星空観賞

3日目（8月2日(金)）

時刻	場所等
9:00	グル型ホテル発
AM	亀石の見学（テレルジ国立公園内） ザイサン丘、戦勝記念碑等見学
PM	ボクド・ハーン宮殿博物館 日本人墓地 ノミン・デパート、お土産購入 スフバートル広場
21:30	ラマダ・ウランバートル・シティ・センター着

4日目（8月3日(土)）

時刻	場所等
9:00	ホテル発
AM	ナイランダル・インターナショナル・ チルドレンズ・キャンプ着 モンゴルの文化学習、中学生との交流
PM	日本の相撲、モンゴル相撲の試合 入寮記念式典への参加
21:30	ホテル着

5日目（8月4日(日)）

時刻	場所等
5:15	ホテル発
5:45	チンギス・ハーン国際空港着 お土産購入
7:45	モンゴル航空501便で空の旅
13:45	成田空港着
17:40	武蔵村山市役所着

事前説明会

第1回

令和元年6月28日(金)
午後6時30分～

- ・中学生参加者の自己紹介
- ・交流事業の説明
- ・スケジュールの案内
- ・持ち物や服装などの確認等



第2回

令和元年7月18日(木)
午後6時30分～

- ・モンゴル語の発音練習
- ・スケジュール等の確認





- ・副市長、教育長による激励
- ・中学生参加者による目標の発表
- ・スケジュール等の最終確認

DAY 1

8:50

武蔵村山市役所発



14:50

成田空港発



19:00

チンギス・ハーン国際空港着



ウランバートル市ハンオール区役所の職員と
通訳の方がお出迎え

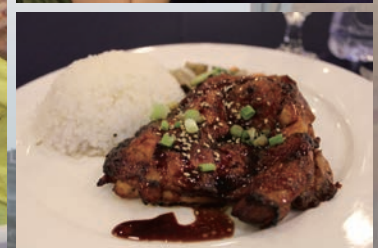


20:30

ラマダ・ウランバートル・シティセンター着、夕食



初日は移動だけの一日でしたが、
初めての海外に緊張している生徒
も多く、夕食後はすぐに解散し、
翌日に備えました。



9:00

ホテル発、スーパーマーケットでおやつ購入



ホテルに併設されている両替所で、モンゴル国の通貨であるトゥグリクに両替しました。日本と違い硬貨がないため、お札の種類の多さに生徒たちは驚いていましたが、スーパーマーケットに立ち寄り、さっそくバスの中で食べるおやつを購入しました。



2日目には、自由行動でお土産を購入する時間があるため、予行練習として、区職員や通訳の方に助けてもらいながらレジでの支払いに挑戦しました。購入しようとしたおもちゃが予算をオーバーしていたため、キャンセルに時間がかかる…という経験もできました。

チンギス・ハーン像テーマパーク着



ウランバートル市郊外にあるチンギス・ハーン像では、像上部の展望台を見学し、その後地下にあるモンゴルの人々の生活や歴史に関する展示等を見学しました。



施設の外では、ラクダに乗ることができ、2人の生徒が挑戦しました。

「ラクダのコブが温かくて、柔らかかった!」と、貴重な体験ができたことに、喜んでいました。



テレルジ国立公園内 グル・エコ・コンプレックス着、昼食

テレルジ国立公園内にあるグル型の宿泊施設に滞在しました。昼食をとった後、丘にみんなで登り、生徒たちは思いのまま走ったり歌ったりと、日本ではなかなか味わうことのできない壮大な自然を満喫しました。



民族衣装、弓射、乗馬体験



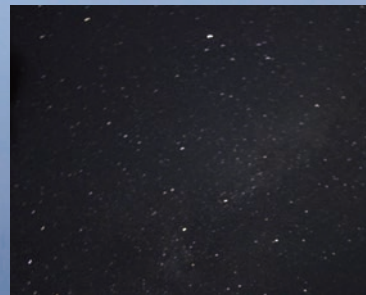
民族衣装体験では華やかな着物や帽子を着付けてもらいました。弓射体験では、通訳の方に射る方法を教えてもらった後、生徒同士で教え合いながら挑戦していました。



モンゴルの同じ年頃の男の子たちに馬を引いてもらい乗馬にも挑戦しました。初めて乗る馬に、みんな最初は緊張気味でしたが、ルートを折り返し戻ってくると「楽しかった!!」と、爽やかな笑顔を見ることができました。馬を引いてくれたお礼に、日本から持ってきた折り紙のツルをプレゼントする生徒もいました。



星空観賞



丘で見たモンゴルの星空に、生徒たちは感動し、星空を見上げながら思い思いの時間を過ごしました。

モンゴルの朝晩は冷えるので、ホテルの職員が一つ一つのゲルを回り、薪に火をつけてくれました。

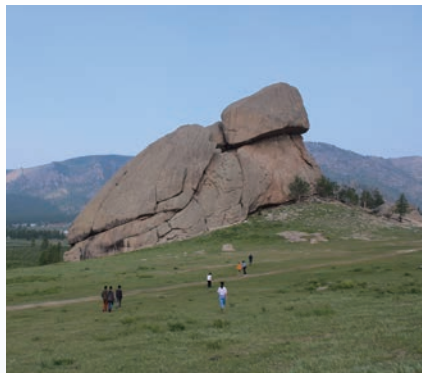


9:00 ホテル発

民族衣装を身にまとったホテルの女性職員が、ホテルを出発するバスに向かって、お椀に入ったミルクをまいていました。これは、モンゴルに伝わる旅の安全を祈る儀式だそうです。



亀石見学



テレルジ国立公園内にある、高さ約15メートルのこの「石」は、風雨の浸食により亀のような形をしているため亀石と呼ばれています。信仰の対象になっているそうで、「石」の麓には、小さな石を積み重ねたお祈りの跡が残されていました。

ザイサン・トルゴイの丘見学



頂上からウランバートル市内を一望できるこの丘には、第二次世界大戦の戦勝記念碑があります。

頂上にある円形の展望台の内側には、第二次世界大戦の際のモンゴル、ソ連両軍の友好等がモザイク画で描かれており、通訳の方から説明を受けました。



モンゴル料理レストランで昼食



モンゴルの伝統料理であるボーズ（皮の厚いシュウマイ）やホーショール（モンゴル版のピロシキ）等を食べました。どれも牛肉だったため、くせが無く食べやすく、特にボーズは生徒たちに人気でした。



ボグド・ハーン宮殿博物館見学



ラマ教最高指導者第八代活仏ボグド・ハーンの冬の宮殿だった博物館を見学しました。実際に使用していた生活用品や、仏像などが展示されています。生徒の一人は、仏教画に興味があり、一つ一つじっくり見学していました。

日本人墓地見学



第二次世界大戦後、モンゴルに抑留されたまま亡くなった日本兵の慰霊碑を見学しました。この地に納められていた遺骨は現在収集され日本に送られており、跡地にこの記念碑が建てられています。



ノミン・デパートでお土産購入



デパート内のみでの自由行動とし、生徒たちだけでお土産を購入しました。初めて見るお菓子や食べ物に興味深々で、家族や友人へのお土産を真剣に選んでいました。男子生徒たちの中には、民芸品コーナーで見つけた伝統衣装の帽子を購入している生徒もいました。限られた時間の中でのお土産購入だったため、満足しきれない生徒も数人見受けられましたが、全員自力でトッグリクを使用しお土産を購入することができました。

モンゴル式バーベキューレストランで夕食



好きな食材を選び、係の方に焼いてもらうモンゴル式のバーベキューレストランで夕食をとりました。自分で好きな食材と味を選べたことから、生徒たちにはここでの夕食が一番好評でした。



スフバートル広場見学



ウランバートル市の中心にあるこの広場には、モンゴル革命の指導者であるダムディン・スフバートルの像や、隣接する政府宮殿にあるチンギス・ハーン像を見学しました。夜になるとライトアップされるため、広場周辺は非常に明るく、多くの人で賑わっていました。



10:00 ナイランドル・インターナショナル・チルドレンズ・キャンプ

モンゴルを中心に世界各国の小学生から高校生程度までの生徒が集まり、約1週間共同生活をしながら教育プログラムを実施する施設で、交流を図りました。
訪問時には、約300人の生徒が滞在していました。



クラブ活動に参加



習字や折り紙、クリケット等様々な活動が行われており、武蔵村山市の生徒は、各自興味のあるクラブ活動に、参加しました。
言葉が通じなくてもジェスチャーを使い、現地の生徒と積極的に交流していました。

昼食



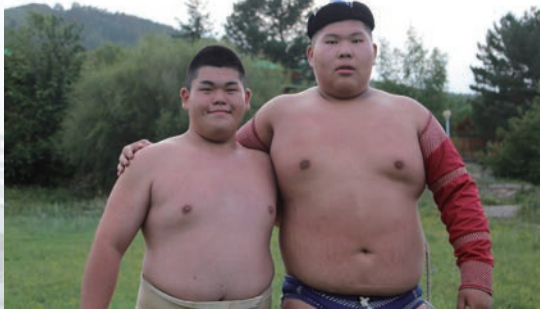
配属されたクラス（50人程度）で班ごとに分かれ、昼食から一緒に行動しました。
日本の給食と同じ形式でトレイを持ち、おかずやスープを受け取り、班ごとに昼食をとりました。

クラスの生徒たちとの交流、グループワークへの参加



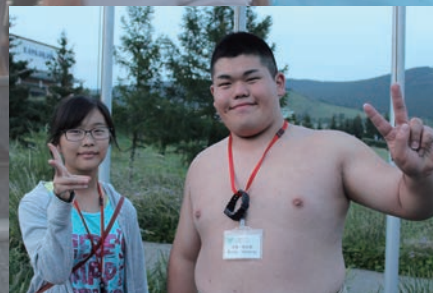
昼食後、日本から持ってきた折り紙でツルや紙風船の折り方を教える等、それぞれの方法で交流を図っていました。グループワークでは「SNSの利用に当たって注意すべきこと」について班ごとに演劇形式で発表をする予定でしたが、モンゴル相撲を体験する時間がなくなってしまうため、発表には参加できませんでした。

モンゴル相撲選手との試合



相撲を通じた交流として、水野さんとモンゴル国の生徒代表（18歳）が試合を行いました。水野さんは、モンゴル相撲では2敗しましたが、体格差がある中果敢に挑戦し、日本の相撲では1勝することができました。

入寮記念式典へ参加



夕食後、施設の入寮記念式典が行われ、約300人の生徒の前で、日本からの派遣生徒代表として、水野さんが国旗を掲揚し、小松さんがモンゴル語と日本語でスピーチを行いました。小松さんは、短い時間の中でスピーチ原稿を準備し、通訳の方に発音を教わり、原稿を見ることなくモンゴル語で発表していました。まわしを身にまとった水野さんは、式典に参加していた多くの生徒に注目を浴び、撮影に応じていました。

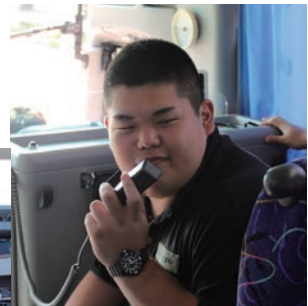
7:45 チンギス・ハーン国際空港発



ハンオール区職員から、お土産に文房具セットをいただきました。お世話になった職員と通訳の方々とお別れをし、モンゴルを出発しました。

13:45 成田空港着 17:40 武蔵村山市役所着

帰りのバスの中では、一人一人モンゴルでの感想を発表してもらいました。「いろんな体験ができて楽しかった!」「また行きたい!」という声が多かったです。無事市役所に到着し、保護者の方々にあたたかく帰りを迎えていただきました。



生徒たちのアンケート集計

(1) 今回の交流に参加してよかったですか？

- | | |
|--------------------|------|
| ① そう思った | … 9人 |
| ② どちらかといえばそう思った | … 1人 |
| ③ どちらかといえばそう思わなかった | … 0人 |
| ④ そう思わなかった | … 0人 |

(2) 印象に残った訪問場所はどこですか？（3つ選んでください）

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| ① チングス・ハーン像テーマパーク | ② グル・エコ・コンプレックス（ゲルタイプの宿泊施設） |
| ③ ゴルヒ・テレルジ国立公園（亀石） | ④ ザイサン丘 |
| ⑤ ボクド・ハーン宮殿博物館 | ⑥ スフバートル広場 |
| ⑦ 日本人墓地 | ⑧ ノミン・デパート |
| ⑨ ナイランダル・インターナショナル・チルドレンズ・キャンプ | ⑩ その他 |

【回答の多かったもの】

- ② グル・エコ・コンプレックス（ゲルタイプの宿泊施設）… 9人
⑨ ナイランダル・インターナショナル・チルドレンズ・キャンプ… 6人
⑦ 日本人墓地… 4人

その理由を教えてください。

②を選んだ生徒

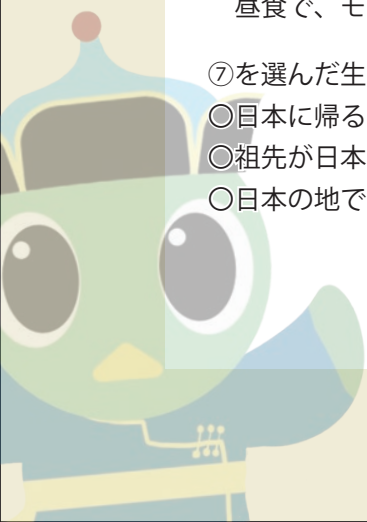
- 初めてゲルに泊まり、自然がとても豊かで、星空もすごくきれいだったからです。
- ゲルのことは事前に調べていたが、実際に泊まると過ごしやすい工夫が施されていて驚いた。
- 近代化が進んでいる中での、貴重な体験だから。

⑨を選んだ生徒

- 言葉が通じなくても、モンゴルの子たちと一緒に折り紙で遊ぶことができたから。
- モンゴル人の他にも、アメリカ人や日本人がいて、色々な話を聞いて良い交流になった。
- モンゴルの中学生と交流して、コミュニケーション能力が上がり、良かった。
昼食で、モンゴル料理を体験できた。

⑦を選んだ生徒

- 日本に帰ることのできなかった、たくさんの日本人のことに知ることができたから。
- 祖先が日本を守るために戦ったと思うと、強く感じるものがあった。
- 日本の地で亡くなることができなかったと思うと胸が痛むし、改めて戦争は良くないと思った。



(3)印象に残った体験等は何ですか？（3つ選んでください）

- | | | | |
|-----------|----------|-------|--------|
| ①甲冑体験 | ②民族衣装体験 | ③乗馬体験 | ④弓射体験 |
| ⑤モンゴル相撲体験 | ⑥ゲルホテル宿泊 | ⑦星空観賞 | ⑧史跡等見学 |
| ⑨中学生との交流 | ⑩その他 | | |

【回答の多かったもの】

- ⑦星空観賞… 8人
- ③乗馬体験… 7人
- ⑥ゲルホテル宿泊… 4人

その理由を教えてください。

⑦を選んだ生徒

- 本当に言葉が出ないくらい美しかった。流れ星が見れてうれしかった。
- すごくきれいで、ずっといたかった。
- 東京では見れないような星空が一面に広がっていて、きれいだったから。

③を選んだ生徒

- 初めて馬に乗るので、馬が暴れたりしないかと思ったが、全く暴れず歩くので驚いた。
- 同じ年くらいのモンゴルの子たちが、馬を連れて来てくれてびっくりした。馬に乗ることができて、楽しかった。
- 最初は不安だったけど、モンゴルの男の子たちが馬を引いてくれたので、最後の方はあまり気にせず乗れて、楽しかった。

⑥を選んだ生徒

- 日本でテントを張って寝るのとはまた違う、モンゴルの人たちが昔から使っている家で、1泊するという体験ができてとても楽しかった。
- ゲルは外の音がけっこう聞こえて、少し寝にくかった。
- ゲルでの宿泊に興味があったから、楽しかった。



保護者のアンケート集計

(1)今回の交流事業へお子さんを参加させて良かったと思いますか？

- | | |
|-------------------|-------|
| ①そう思った | … 10人 |
| ②どちらかといえばそう思った | … 0人 |
| ③どちらかといえばそう思わなかった | … 0人 |
| ④そう思わなかった | … 0人 |

(2)(1)の回答の理由を教えてください。

- 異文化交流を心より楽しめた様子だからです。現地中学生と電話でやりとりしている様子を見て、今回の事業での交流が未来につながったと感じました。
- コミュニケーションが取れなかったため、語学の大切さに気付いたようです。自主的に、学習に取り組むようになることを期待します。

(3)保護者の方から見てお子さんは意欲的に参加していたと思いますか？

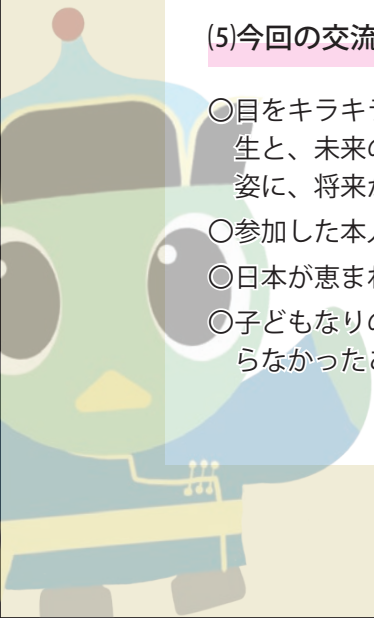
- | | |
|-------------------|------|
| ①意欲的だった | … 9人 |
| ②どちらかといえば意欲的だった | … 0人 |
| ③どちらかといえば意欲的でなかった | … 0人 |
| ④意欲的でなかった | … 1人 |

(4)(3)の回答の理由を教えてください。

- ①を選んだ方
 - モンゴルを地図で調べ、毎日ひとつモンゴル語を覚えたり、本を買ったりいろいろやっていました。モンゴルの子どもたちがどんな遊びが好きかなど、毎日モンゴルについて話をしていました。
 - モンゴルの食事は苦手なものが多かったため、日本食の良さや国によって食の好みが違うことを学んだようです。
- ④を選んだ方
 - 申請前は意欲的に取り組んでいたんですが、参加決定後準備はすべて親任せになってしまっていたため。

(5)今回の交流の感想等を自由にご書いてください。

- 目をキラキラさせて、感動したことや体験したことを話してくれます。仲良くなった現地の中学生と、未来のオリンピックを一緒に見に行きたいと話しています。英語を勉強しようとしている姿に、将来が楽しみです。
- 参加した本人だけでなく、準備を手伝った親もモンゴル国について学ぶことができました。
- 日本が恵まれた国で、今の生活が当たり前ではないと肌で感じたようです。
- 子どもなりのフラットな目線でモンゴルを体験できたのではないかと思います。言葉が全く分からなかったことや、物価が安かったことなどいろいろ話してくれました。



令和元（2019）年度

「モンゴル国ウランバートル市ハンオール区派遣交流」実施報告書

発行年月／令和元年 9 月

編 集／武蔵村山市企画財務部企画政策課

〒 208-8501 武蔵村山市本町一丁目 1 番地の 1

電話 042(565) 1111（代表）



武蔵村山市